

日本とイタリアを結ぶピアニスト

関孝弘 プロフィール

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め第20回日本学生コンクール・中学の部第2位。東京芸術大学付属音楽高校より、同大学に進み、在学中に第45回日本音楽コンクール第2位、安宅賞受賞。

イタリアのプレーシャ国立音楽院に留学し、パルマ・ドーロ国際音楽コンクール第2位、ザンボーニ国際コンクール第1位、ベッリーニ国際コンクール第3位、ラフマニノフ国際コンクール第3位、エンナ国際コンクール第3位等、多数の国際コンクールに上位入賞。ヨーロッパ全土で演奏旅行を開始。

東京交響楽団、東京都交響楽団を始め、旧レニングラード・フィル、モスクワ国立交響楽団、ワルシャワ・フィル、ベニス室内合奏団など世界の著名なオーケストラからソリストとして招待される。

1988～2005年まで東京芸術大学講師を務める。CDは徳間ジャパンより6タイトル、コロムビア・ミュージックより3タイトル、ブリッランテより15タイトル発売されている。また全音楽譜出版社、カワイ出版社より多数の楽譜が出版されている。イタリアのピアノ作品の紹介を意欲的にしており、本邦初演も多数。

2006年に出版された「これで納得、よくわかる音楽用語のはなし」は異例のベスト・セラーを続け、現在19刷リになっており、中国語にも翻訳出版されている。

2011年イタリアの音楽文化を広めた多大な功績により、イタリア政府より文化功労勲章「コメンダトーレ章」を受章。2014年8月、イタリアのフィナーレ・リーグレ市より名誉市民の称号を授与された。

毎年開催されている東京文化会館大ホールでのリサイタル・シリーズはすでに第13回を迎え、毎年満席にする実力ピアニストである。子ども医療に関する音楽支援活動にも精力的で、2014年より子どもホスピス建設のためのチャリティーコンサート・シリーズを開催している。透徹された響きの美しさには定評がある。

現在、日伊音楽協会理事、パルマ・ドーロ国際コンクール(イタリア) 審査委員長も務めている。

晶文社3月新刊

『ブリッランテな日々』

— マリアンジェラのイタリア流しあわせ術 —

定価 ¥1,728 (税込)

マリアンジェラ・ラーゴ / 関孝弘 共著

健康で、おおらか。熱くなり過ぎることもあるけれど、心の中はいつもシンプルで、晴れている。

日本とイタリアの真ん中から届ける、幸せを見つけるための新提案。あなたの心の中にもある「イタリア」を育てる1冊。

「ブリッランテ」とはイタリア語で「輝く」という意味。

輝く素晴らしい人生は、少しだけ発想を変えれば誰にでも手に入れることができます。

幸せは皆さんのすぐそばに、日々の中に隠されています。

イタリア流「100%幸せ」と言い切る術を語るご夫妻のエッセー集。

下記ホームページより著者ご夫妻のサイン入りで購入できます。

関孝弘ホームページ <http://www.mt-brillante.jp>



Photo: 尾形和美

ア
ク
セ
ス

よみうり大手町ホール (読売新聞東京本社)
地下鉄大手町駅 C3 出口直結

所在地: 東京都千代田区大手町1-7-1
<http://yomi.otemachi-hall.com/>

次
期
目

7月23日(木) 横浜みなとみらい大ホール
(チャリティーコンサート)

11月24日(火) 東京文化会館大ホール